

職人技と最新設備で 「イメージを型(かたち)」に

納期相談
企画力自信有
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



最先端の超音波ミシン加工に対応

【業務内容】 裁断・縫製技術で 実績と信頼を確立

「児玉帆布工業」は、工場などの粉体製造工程で使われる「ろ布」を加工したフィルターやシュートの製造・販売を主に手がけている。昭和27年の創業以来「イメージを型(かたち)」をコンセプトに顧客の要望に応えてきた。扱う製品のサイズは指サック程度から100㎡程度まで及び、約200種類の中からニーズに合う生地を選定して対応。培った生地の裁断・縫製技術を生かし帆布から特殊繊維に至るまでを使い分け、製品の最適化を図る。大型テントやシート類から厳しい品質が求められる半導体、医薬品メーカー向けフィルター類など、幅広い分野の取引で実績と信頼を確立している。

【強み】 独自成長で 新規顧客開拓に成功

多品種を取り扱い、さまざまな業種との取引がある同社の強みは、大手の傘下に入らず独自で成長してきたことだ。そのため、しがらみや制約のない販路開拓に注力できている。近年は積極的に展示会出展や自社ホームページ展開に取り組み、年間で70〜80件の新規顧客の獲得に成功。これら新規顧客の多くはエンドユーザーであるため、現場での困り事を直接ヒアリングできることがノウハウの蓄積に役立っている。1つから注文を受ける小ロット生産の対応では、企業の研究開発部門からの引き合いも多い。今までに手がけたことのない製品要求に対応することにより、自社製品の品質向上につながっている。

【設備強化】 課題は医薬・食品業界へ 最新技術による取引拡大

創業から67年、職人による高い縫製技術と

培った知見による確かな生地の選定力により、品質重視で成長してきた。さらなる飛躍への重点課題として、医薬品や食品といった安全・安心への意識が高い業界との取引を強化する方針だ。これらの業界では製品の縫い目や布端のほつれ、生地切断のために必要な線を引くチャコ鉛筆の粉も異物になり得る。異物の徹底的な排除のため、平成24年に設計用3次元CADと連動したレーザー裁断機、同26年には超音波ミシンを導入し、最新鋭の製造技術を確立した。これを活用し、同業界との取引をさらに拡大させる考えだ。

【今後の展望】 積極投資や人材育成で 持続的な発展目指す

同社では、3次元CADやレーザー裁断機、超音波ミシンなどの最新設備を積極投資で導入し事業拡大を目指しており、顧客も展示会やホームページを通じて、関西近郊から全国に広がっている。生産体制の強化とともに、将来的には東京など企業が多い商圏への営業拠点進出にも基準を定めている。

また、持続的な発展を遂げるため、10年先を見据えた人材育成にも取り組んでおり、月に一度若手従業員を集めて、生地の知識や機械に頼らない裁断の仕方など技術の伝承を行っている。技術力、人材力ですますの発展が期待される企業だ。



3次元CADで正確なデータを入力



活発な意見が飛び交う従業員研修

当社の歴史



昭和27年、現社長の父が帆布やテント、湿式用濾過布などを手がける「児玉帆布縫製所」を大阪市阿倍野区的美章園で創業しました。以来「イメージを型(かたち)」をモットーに、顧客の困り事に応え続けてきました。培った技術力と人材力で、小ロット・多品種・高品質を実現します。

代表取締役 児玉 憲幸さん

<https://www.kodamahanpu.com/>

主な事業内容

乾・湿式用フィルター、流動層用バグフィルターなどの製造・販売

主な取引先(納入先)

製薬メーカー、食品工場、化学工場、半導体メーカー、粉体製造機械メーカー

- 住 所 〒555-0025
大阪市西淀川区
姫里1-1-33
- T E L 06-6471-2303
- F A X 06-6473-5400
- 創 業 昭和27年1月
- 設 立 昭和52年4月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 13名

大阪
30